6月定例会の概要

6月10日～6月27日までの18日間

会期中の主な動き

■議長及び副議長の選出 …… (6/11)
■議会運営委員の定数変更（11人→12人）…… (6/11)
■委員及び正副委員長の選出 …… (6/11)
　●常任委員会、予算特別委員会及び議会運営委員会
■関西広域連合議会議員の選挙 …… (6/11)
■特別委員会の開催
　●行政改革･基本計画等に関する特別委員会 …… (6/18)
　●防災・国土強靱化対策特別委員会 …… (6/19)
　●人権･少子高齢化・環境問題等対策特別委員会 …… (6/20)

一般質問議員 13人

6月18日(水)	6月19日(木)	6月20日(金)	6月23日(月)
谷　洋一	森　礼子	大沢広太郎	花田　健吉
奥村　規子	多田　純一	長坂　隆司	立谷　誠一
新島　雄	雑賀　光夫	高田　由一	向井嘉久藏
		中村　裕一	

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成26年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(〃)	14件	和歌山県高等学校等修学支援対策基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例　等	可決
人事案件(〃)	11件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて　等	同意
その他案件(〃)	5件	訴訟の提起について　等	可決
知事専決処分報告(〃)	1件	和歌山県税条例の一部を改正する条例	承認
請願	2件	公務員獣医師の処遇改善についての請願	採択
		「農協･農業委員会等に関する改革の推進について」の具体化に関する意見書の提出を求めることについての請願	採択
意見書	17件	政府の規制改革会議がとりまとめた農業改革案の農業協同組合見直しに反対する意見書	可決
		「農協･農業委員会等に関する改革の推進について」等の具体化に関する意見書	可決
		公務員獣医師の処遇改善を求める意見書	可決
		国土の強靱化に資する社会資本整備の推進を求める意見書	可決
		地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書	可決
		参議院選挙制度改革に対する意見書	可決
		リニア中央新幹線の関西国際空港までの延伸を求める意見書	可決
		鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書	可決
		総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書	可決
		北朝鮮による拉致問題の一日も早い解決を求める意見書	可決
		「手話言語法（仮称）」制定を求める意見書	可決
		中小企業等が加入する健康保険の保険料負担の軽減を求める意見書	可決
		地方財政の充実･強化を求める意見書	可決
		農業委員会等の制度見直しに関する意見書	否決
		集団的自衛権行使を容認する解釈改憲に反対する意見書	否決
		集団的自衛権の行使容認に関する慎重な検討を求める意見書	否決
		日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書	否決

国体

紀の国わかやま大会への対応

問 障害のある選手を迎えるに当たり、ボランティアの準備状況や県職員のかかわり方、競技会場のバリアフリー化について、どのように考えているのか。

答 選手団に同行する選手団サポートボランティアや手話・要約筆記で通訳する支援ボランティアの養成、並びに会場内で案内等をお手伝いいただく大会運営ボランティアの確保に努めるとともに、県実施本部を設置し、全庁体制で選手を支援していきます。また、障害者団体の意見を聞きながら、スロープや多目的トイレ、音声や映像による案内装置、情報保障席の設置など、競技会場のバリアフリー化にも努めていきます。

環境に優しい国体・大会の実現

問 サッカーワールドカップ会場での日本人サポーターのごみ掃除が世界的な評価を受けたが、来年開催の紀の国わかやま国体・大会でも、感動とごみの分別方法を持ち帰ってもらえる、環境に優しく見識の高い大会を目指してはどうか。

答 来年の国体・大会では、ごみの減量化・分別化の徹底、パークアンドライドによる競技会観戦、紀州材を豊富に使用した施設整備等、環境に優しい大会運営に努力してまいります。また、クリーンアップ運動を県内全域で展開するなど環境美化運動を推進し、環境保全意識の普及啓発に積極的に取り組もうとしています。両大会終了後も、そのような取組が県民一人ひとりに継承されていくような大会にしたいと考えています。

観光

県産果樹でのお出迎え

問 本県へ来てくれるお客様を県産果樹で迎えるため、最初に県外の人が到着する県の顔とも言うべき駅前や高速道路のサービスエリア等に県産果樹を植栽してはどうか。

答 県内においては、地元の観光協会等がJR南部駅前に地域の特産果樹である梅を植栽して来訪者を迎えているという事例もあります。大変よいアイデアですので、各駅や高速道路のサービスエリア等での果樹の植栽について、県の観光当局から地元関係者に働きかけていきます。

新しい観光ルートの策定

問 有間皇子や小山肆成などのゆかりの地を結ぶ広域観光ルートをつくり、それぞれの背景にある歴史・文化を加えて奥深く興味の尽きない観光地にしていってはどうか。

答 熊野三山や高野山を紹介する際、いにしえからの「祈りの文化」を背景に参詣道の熊野古道や高野山町石道でつながっている観光資源を絡め、広域的な展開を図っています。古事記編さん1300年に当たって「わかやま記紀の旅」を作成するなど、背景の物語とあわせた周遊モデルコースや見どころなどの情報を発信しています。今後も、様々な視点で共通する文化やテーマを見出し、それらをつないだ広域観光を推進していきます。

用語解説

有間皇子（ありまのみこ）**(640～658年)**
孝徳天皇の皇子。皇位継承争いの中、わなにはまり、釈明のため牟婁（白浜）の斎明天皇を訪ねた帰路、藤白坂で殺害された。わずか19歳の若さであった。

小山肆成（こやましせい）**(1807～1862年)**
熊野水軍の子孫として生まれ、若くして京都に出て医学を志した。19世紀前半に熊野地域で天然痘が大流行するが、1849年、我が国で初めて天然痘予防弱性ワクチンの実験に成功。同時に、「引痘宜用国産」、「引痘新法全書附録」を出版し、国産の天然痘予防ワクチンが広く国内にも知られるようになった。